

平成28年度阪南大学高等学校 学校評価(自己評価)

- 重点目標
- ①基礎学力の定着
 - ②基本的生活習慣の確立
 - ③主体的活動による個人の能力の発展的育成
 - ④阪南大学との一貫教育の推進
 - ⑤進路指導の徹底

分類	評価の観点	評価項目	設問	評価
学習 教育 活動	学力向上	教育計画	年間を通じての教育計画を各教科・科目別に立てている。	A
		授業の質の向上	わかりやすい授業を心がけ、授業の工夫・改善を心がけている。	A
		教育課程	学校づくりを考えながら、教育課程に検討を加えている。	A
	進路指導	体制	進路指導に取り組む体制や施設・設備は整っている。	A
		情報収集	生徒理解に必要な個人的資料や進路情報の収集・活用ができています。	A
		相談活動	進路相談など、相談活動は十分行われている。	A
		高大連携	阪南大学との進学・共学などの連携強化に取り組んでいる。	A
	生活指導	体制	生徒指導に取り組む体制や施設・設備は整っている。	A
		問題行動への対応・指導	問題行動への対処や当該生徒への教育・指導が充実している。	B
		問題行動防止対策	問題行動の未然防止対策ができています。	A
	生徒会活動	体制	生徒会活動を行う体制が取れている。	A
		クラブ活動	クラブ活動に取り組む体制が整備されている。	A
		生徒の自主的活動	生徒会活動が生徒の自主的活動や能力開発につながっている。	B
		学園祭などの生徒会行事	生徒自らが積極的に参加しようとする気風が育っている。	A
	人権教育	教育計画	年間を通じての教育計画が準備されている。	A
		体制と研修	人権尊重の気風を育てるための体制があり、教員研修も行われている。	A
	保健指導	体制	健康と安全のための体制が確立している。	A
		健康と安全	計画的に生徒の健康管理が行われている。	A

学 校 運 営	学校づくり	教育課程など	学校づくりは全体の総意が尊重されている。	A
		施設・設備	教育活動・クラブ活動のための施設・設備が充実している。	A
	学校運営	教員会議	教員会議は定期的に行われ、民主的に運営されている。	A
		運営	学校運営のために、管理職も含めた協力、共同体性がある。	B
		分掌	校務分掌は適切に機能している。	B
		情報公開	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	A
	資質の向上	研修	効果的な学内研修が企画立案されている。	B
			学外研修、他校訪問などで資質向上に努めている。	B
	危機管理	役割分担	事故、災害時に対する役割分担が明確にされている。	B
		講習・訓練	AEDの講習や防災訓練などが十分に行われている。	A

専任教職員、常勤講師でアンケート(回答数69)を実施。肯定的評価が75%以上をA、50%以上75%未満をB、25%以上50%未満をC、25%未満をD、として表記。